

さかいまち 議会だより

No. 173

平成28年2月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会
〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873
ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>

目次

- 議長年頭の挨拶・要望活動…………… P 2
- 12月定例会議決事項 …………… P 3～5
- 第2回臨時会議決事項…………… P 4
- 一般質問…………… P 5～7
- 議会活動…………… P 8

撮影地 境町染谷

議長の年頭の挨拶

境町議会議長

倉持 功



輝かしい平成28年の新春を迎え、町議会を代表いたしましたとして、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年3月の、圏央道における境・古河ICの開通により、我々境町民の利便性が大きく変化いたしました。また、平成28年度中には、圏央道の全線開通が見込まれております。当町では、この圏央道を最大限活用し、地域経済発展、また税収及び雇用確保のためIC周辺開発を進めているところ

でございます。

昨年9月には、関東・東北集中豪雨により、茨城県は甚大な被害を受けました。境町におきましても、国から激甚災害の指定を受け、復旧に全力を挙げてきたところであり、議会としても町と共に、安倍首相を初め関係機関に強く要望・陳情をしてまいりました。今後も、継続して復旧活動を行っていくと共に、今回の教訓を生かし、災害に強い境町を構築していかなければならないと考えております。

私たち議会は、未来に展望の持てる、住みよい町づくりを目指し、本年も関係各位との連携を深め、町民の負託に応えるべく、町政の諸問題解決にむけ邁進して参る所存でございます。

結びに、境町の発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

要望活動

昨年9月に発生した台風18号による関東・東北豪雨災害からの早期復旧及び今後の防災対策強化について、茨城県利根川・鬼怒川・小貝川の沿川市町長と首相官邸を訪問し、安倍内閣総理大臣に要望書を提出してまいりました。また、町議会では町とともに、災害対策施設の整備について、石井国土交通大臣に要望書の提出をしてまいりました。



安倍内閣総理大臣に要望活動



国土交通大臣に要望活動



平成27年第4回定例会

12月4日～12月9日
(6日間の会期)

全議案・原案可決

条例制定・改正

○境町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報提供に関し必要な事項を定めるため提案するもの。

○境町税条例の一部を改正する条例案について

地方税法等の一部を改正する法律が平成27年3月31日公布され、その一部が平成28年4月1日から施行されるに伴い境町税条例の一部を改正するもの。

○境町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案に

ついで

地方税施行規則等の一部を改正する省令が平成27年9月30日に公布され、その一部を除き平成28年1月1日から施行されることに伴い境町税条例の一部を改正する条例を改正するもの。

○境町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について

児童福祉施設最低基準の一部を改正する省令及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、条例の一部を改正する必要があるため提案するもの。

○境町サッカー場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する

条例案について

境町サッカー場の人口芝生化・照明設備化に伴い、サッカー場使用料及び照明使用料金を改正するため、条例の一部を改正するもの。

○境町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、農業委員会の委員の定数及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。



町道路線の認定・変更について

○町道路線の認定について

境町大字塚崎・大字長井戸・大字西泉田・大字蛇池・大字猿山地区において、圏央道事業及び国道354号バイパス事業並びに結城野田線バイパス事業に伴い町道の一部が起業地に含まれることから新たに町道路線を認定するもの。

猿山地区	蛇池地区	西泉田地区	長井戸地区	塚崎地区	認定
2町道 2993～2994号線	2町道 2990～2991号線 2995～2996号線	2町道 2980～2984号線	2町道 2985～2989号線 2992号線 2997～2998号線	1町道 1806～1819号線	

○町道路線の変更について

境町大字塚崎・大字長井戸・大字西泉田・大字蛇池・大字猿山地区において、圏央道事業及び国道354号バイパス事業並びに結城野田線バイパス事業に伴い当該路線の一部が起業地に含まれたことから起点・終点が変更されたため、町道路線を変更するもの

猿山地区	蛇池地区	西泉田地区	長井戸地区	塚崎地区	変更
2002・2003・2004 町道 号線	2001・2004・2007・2013 町道 号線	2004・2005・2007・2013 町道 号線	2002・2007・2009・2024 町道 号線	1076・1085・1237 町道 号線	

人事案件

○坂東市外2か町公平委員会の委員の選任につき同意を求めるところについて



境町伏木
石塚 光男

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



境町
倉持 薫



境町上小橋
田中 次郎



境町一ノ谷
中村 好

補正予算

10月27日 平成27年第2回臨時会

平成27年度境町一般会計補正予算（第3号）（専決処分の承認）

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	83億7千133万7千円	250万円	83億7千383万7千円

平成27年度境町一般会計補正予算（第4号）（専決処分の承認）

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	83億7千383万7千円	1億3千477万1千円	85億860万8千円

平成27年度境町各会計補正予算

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計	85億860万8千円	7億2千536万4千円	92億3千397万2千円	
特別会計	公共下水道事業	9億2千664万7千円	1千170万円	9億3千834万7千円
	農業集落排水事業	2億4千644万円	6千100万円	3億744万円

平成27年度境町特別会計補正予算（第3号）（専決処分の承認）

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
農業集落排水事業	3億744万円	2千200万円	3億2千944万円

平成27年度境町各会計補正予算

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計	92億3千397万2千円	2億3千300万円	94億6千697万2千円	
特別会計	後期高齢者医療事業	3億9千310万4千円	938万4千円	4億248万8千円
	介護保険事業	18億3千423万円	25万8千円	18億3千448万8千円
	公共下水道事業	9億3千834万7千円	180万8千円	9億4千15万5千円

議席11番

関 稔 議員



○災害対策について「台風18号による大雨被害に伴う今後の町の対応策について」
Q 長井戸沼の排水機場及び各耕区別機場の整備監督について
A 町が事業主体となり、被災した施設の設計を土地改良事業団体連合会に委託し、国の災害査定を受けている。今後詳細な事業費が決定してくるので査定終了次第速やかに工事を発注し早期復旧に努

一般質問

4人の議員が登壇しました

めていく。整備監督業務については町と改良区で連携しながら対応していく。
 （建設農政部長）

Q 長井戸沼の外周道路及び法面の整備状況について
A 国の災害復旧の対象外であるため、長井戸沼土地改良区で復旧することで協議決定している。
 （建設農政部長）

Q 東部土地改良区内の道路整備状況について
A 道路全体での災害復旧は難しいため、横断暗渠が破損している箇所のみ国の災害査定を受ける準備を進めている。
 （建設農政部長）

Q 宮戸川の堤防強化対策について
A 県が管理する一級河川であるため、町としても宮戸川の早期復

旧、堤防の強化について県に要望していく。

(建設農政部長)

○幼児英語教育の導入について

Q 境町の移住・定住化及び子育て支援事業の一環として英語教育を導入する考えはあるのか

A 境町まち・ひと・しごと創生本部会議において初等教育や幼児期における外国語教育の推進及び、グローバルな人材の育成について協議を行い、現在実施に向け検討している。

(町長)

○観光農園の導入について

Q 圏央道開通に伴う観光農園の導入について及び農産物等のブランド化の取り組みについて

A 観光農園については、現在ふれあいの里において家庭菜園を開設しているが、今後クラインガルテンのような滞在型市民農園も視野に入れ検討したい。

また、境町農商工連携委員会等の意見を参考にしながら、境町独自商品の普及やPR、ブランド化に向け取り組んでいく。

(町長)

議席12番

内海 和子 議員



○災害対策について

Q 浸水などで役場の基本機能が失われないようBCP（業務継続計画）の対策はなされているか

A 今後は非常用の電源の変更、避難高台の設置、備蓄倉庫などを国の予算で対応するよう検討している。

(総務部長)

Q 利根川の越水などのために3階以上の避難場所の確保はできたか

A 民間企業と10か所の協定をしているが、現在坂東総合高校を避難所として準備を進めている。防災ステーションの設置も国へ要望している。

(総務部長)

Q 行政区ごとの避難計画はできただのか

A 今回の水害を踏まえて見直しをし、しっかりしたものにする。ハザードマップも圏央道を追加して見直していく。

(総務部長)

Q どの時点で避難勧告を出すのか

A 国土交通省や気象庁のホットラインや広域西南消防からのファックスなどが入るので、適切な連絡ができるよう努める。

(総務部長)

Q 今後の災害時には女性のネットワークも作るべきではないか

A 今回は女性消防団員や西南医療センターの看護師さんに協力してもらった。ネットワークよりも炊き出し用の備蓄があるかなどのほうを優先しなくてはならない。

(町長)

○給食について

Q 地元産の肉や野菜の割合はどのくらいか

A 今年度で町内産12%、県内産36%で、先日も蛇池の畜産業者の豚肉を無償提供してもらった。

(教育次長)

Q アレルギー対策や宗教上対策の給食の試みはあるか

A アレルギーに対しては食品成分表を事前に提供している。ハラルフードの方へは牛乳のみであったが、12月からはご飯とパンも提供している。

(教育次長)

Q 世界各国のお料理を取り入れた日を設けてはどうか

A キーマカレーとナンやクックパッドのレシピも取り入れている。食育の観点から調査研究していく。

(教育次長)

(町長)

議席10番

田山 文雄 議員



○「引きこもり」の社会復帰支援について

Q 全国でも、現役世代の不就労者・引きこもりの増加は、地域の活性化を妨げるだけでなく、高齢家庭の負担となっている現状があります。当町においても就労できずに引きこもっている実態を調査し、支援策の実施が求められると思うが、当町の取り組みについて

A 実態調査においては個人情報も関係するので慎重に対応してきました。身近に相談できる窓口の相談情報を掲載し住民に周知をはかり、関係機関と連携して一人でも多くの人が社会復帰できるように支援していきたい。

(福祉部長)

○子どもの貧困対策について

Q 厚生労働省の調べによると、子どもの6人に1人が貧困家庭で生活との調査結果がありました。当町における現状と取り組みについて

A 低所得の家庭における費用の補てんを行い、通常の子どもと変わらない教育が受けられるよう取り組んでいる。

(教育次長)

○自治体における子育て応援アプリの推進について

Q 地域の特徴にあわせて柔軟に情報提供ができるツールの一つとして、自治体アプリの開発を検討・推進して自治体における子育て支援事業に活かしていただければと思うが、当町の考えについて

A 自治体アプリは柔軟な情報提供ができるツールと認識しており、便利なスマホアプリの開発に向け取り組みを進めて参りたい。

(総務部長)

議席4番

櫻井 実 議員



○関東・東北豪雨災害について

Q 町内と長井戸沼の浸水の原因対策は

A 町内は、内水氾濫で地下放水路施設が望ましいが、莫大な予算が伴うので国や県に対して要望し

ていく。

長井戸沼は、宮戸川の決壊が大きな要因であり、管理している県に対して堤防強化について働きかける。

(総務部長)

Q 検証すべきと思うが

A 今回の内水氾濫による水害の検証は終了し、夜間や豪雨の中の避難勧告を出した場合、避難する事そのものが人命の危険を伴うことから、町では気象状況や時刻を考慮した発令を行った。この事は、内閣府の防災ワーキング会議の中でも適切であったと検証されている。

(総務部長)

Q 避難訓練の現況は

A 猿島小学校では5、6年生が体育館に一泊して非常食の試食など避難生活体験を実施し、中学校や高校、行政区では洪水に関する防災講習会を行った。今後も園児、児童、要援護者等を対象に防災意識の高揚に努める。

(総務部長)

Q 他関係機関との平時の連絡調整が重要と思うが現況は

A 今回の豪雨災害は、警察、消防、議会と対応した。今後、区長会や民生委員、地域の自主防災組織や危機管理の専門家である自衛隊OBなどの協力を得て、防災組織の強化に努める。

(総務部長)

Q マラソン大会を開催して町の活性化を図ってはどうか

A 民間等部外機関が検討すべきと思うが、町としても実施要領や支援人員等いろいろな問題点について研究をする。

(秘書公室長)

○自殺防止対策

Q 事故防止の対策は

A 子どもの事故はない。電話等相談窓口やメンタルチェック(心の体温計)の活用を奨励している。

(福祉部長)

Q 教員に対するゲートキーパーの活用は

A 「命の門番」としての制度は承知している。きめ細かな観察や相談を継続させて事故防止に努める。

(教育長)

議会活動

議会行政視察研修報告

「少子化・人口減少対策」について
研修しました。

境町議会では、去る11月13日に「子育て上手常陸太田」を掲げ、独自の様々な施策に取り組んでいる、茨城県常陸太田市を視察研修しました。

県内最大の面積を持つ常陸太田市では人口減少が大きな課題となっており、平成26年には、少子化・人口減少対策課を設置し本格的に力をいれた。また、平成27年度から保育園・認定こども園に入園する世帯に、子育て世帯の経済的負担軽減も図っているとのことです。

本町においても少子化・人口減少対策は課題であり、研修を参考に議会としても更なる提言を行っていきたいと思います。



常任委員会

総務委員会



建設農政委員会



広報編集委員会



教育福祉委員会



◎ 広報編集委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
渡邊昇	内海和子	斉藤政雄	青木輝明	山田正樹